

# 探査ロボ 農業分野開拓

## オグラ 金属 急斜面走行機能高める

【宇都宮】オグラ金属（栃木県足利市、小倉勝興社長、0284・91・4111）は、自社開発の探査ロボット用途として農業分野を開拓する。当初、想定していた災害現場以外のニーズを掘り起こし、実用化・量産化につなげるのが狙い。試験導入に着手している。月額数万円で希望する事業者などに探査ロボを貸し出すことも計画する。

オグラ金属の探査ロボは無限軌道で遠隔操作が可能。全方位を見渡せるカメラを内蔵し、駆動部と一体型のアームクローラーを左右に取り付け障害物の乗り越えなどを容易に

した。農業分野では山形大鶴岡市で焼き畑農法が



オグラ金属は開発した探査ロボットで農業分野を開拓

に加えて、傾斜角が約35度の急斜面でも走行できる仕様にして栽培確

者の負担軽減につな

る。事業者向けの貸し出しでは「現場に適した機能の追加や仕様変更など柔軟に対応できる」（小倉賢大取締役）と、探査ロボの高

機能化を進める。オグラ金属は2016年に関東職業能力開発大学校（栃木県小山）から案件を引き継いで、開発に着手している。16年度に国の戦略的